

平成19年度CSI委託事業報告交流会成果報告

九州大学附属図書館コンテンツ整備課電子化係

<https://hdl.handle.net/2324/10621>

出版情報 : 2008-06-12
バージョン :
権利関係 :

機関内学術情報資源の 統合検索



九州大学

平成20年6月12日-13日
平成19年度CSI委託事業報告会

機関内学術情報資源の統合検索

目的

研究活動のそれぞれの段階の情報を
統合的に検索可能とすることにより、
研究成果物の循環的な生成と
研究コミュニティの創出を支援する。



機関内学術情報資源の統合検索

統合検索対象

SNS

論文に対するコメント
参考文献

統合検索

それぞれの段階の情報を
統合的に検索

機関リポジトリ

発表済の論文

Webバージョン

作成中の論文



九州大学

機関内学術情報資源の統合検索

統合検索用インタフェースの開発

Libros

The screenshot shows the Libros search interface. At the top, there is a search bar with the text '池田大輔' and a '検索' button. Below the search bar, it displays 'CSI Project' and '池田大輔 で検索した結果 16 件中 1 - 16 件目 (0.761 秒)'. The results list includes:

- 1. [プライバシー保護技術の評価のための権限認証モデル](#)
[QIR] - <https://qir.kyushu-u.ac.jp/dspace/handle/2324/49186>
プライバシー保護技術の評価のための権限認証モデル. 中村 龍 稲永 俊介 馬場 謙介 池田 大輔 安浦 寛人 プライバシー保護 認証 Privacy Protection, Authorization. 近年数多くのプライバシーを考慮した権限認証方式が提案されているが、プライバシー保護に関する性質は形式的な定義が存在しないため、各方式の比較が困難である。各権限認証システムに対して最適な権限認証方式を選定するために、権限認証方式をプライバシー保護の観点から包括的に評価することのできる枠組みを用意する
- 2008-02-25 15:00:36
- 2. [半構造化文書に対する木構造と文字列を組合せたラッパーの自動生成法](#)
[QIR] - <https://qir.kyushu-u.ac.jp/dspace/handle/2324/2961>
半構造化文書に対する木構造と文字列を組合せたラッパーの自動生成法. 山田 奏寛 池田 大輔 廣川 佐千男. ラッパー生成. 同種の項目を多数含む半構造化文書群から、各項目を抽出するラッパーの自動生成法を提案する。本手法では、まず部分文字列の長さや出現頻度に基づき、半構造化文書を構造記述部分とコンテンツ記述部分に分離する。これにより、機械学習習得によるラッパー生成が必要となる人手による訓練例の作成が不要となる。次に、対象文書を木構造として
- 2008-01-07 07:43:25
- 3. [部分文字列増幅法による共通バタン発見アルゴリズム](#)
[QIR] - <https://qir.kyushu-u.ac.jp/dspace/handle/2324/2969>
部分文字列増幅法による共通バタン発見アルゴリズム. 池田 大輔 山田 奏寛 廣川 佐千男. n-gram の頻度によるバタン発見. 複数の文字列に共通な部分列を見つける問題をテンプレート発見問題として定式化する。テンプレート以外の文字列の頻度分布はベキ分布に従うことを仮定する。最長の共通部分列を探す問題は NP 完全であることが知られているが、(1) 問題の再定式化、(2) 部分文字列の集合によるテンプレート表現、(3) 部分文字列の頻度と総出現数から共通部分列を発見
- 2008-01-07 07:41:59
- 4. [文字列の頻度分布による共通バタン発見](#)
[QIR] - <https://qir.kyushu-u.ac.jp/dspace/handle/2324/2968>
文字列の頻度分布による共通バタン発見. 池田 大輔 山田 奏寛 廣川 佐千男. n-gram の頻度によるバタン発見. バタンを定数と実数からなる文字列とする。バタン中の実数を定数文字列で置きかえて得られる文字列をそのバタンから生成される語とする。本稿では、未知のバタンから生成された語の有限集合が与えられた時、そのバタンの定数部分を見つけた問題(バタン発見問題)を考察する。未知バタンの定数部分抽出方法

- SNSによる自律的な**コミュニティ**管理
- 作成中の論文、論文へのコメント等も**統合検索**
- 作成中の論文やコメントへは**運用コストの低い**アクセス制御
- SNS内からの検索に加え、**API公開**による検索機能の呼出が可能
- 様々なサービスとの連携が可能
- ... **Flickr**との連携も実現

